

部局	福祉部	補職	部長	氏名	小野 雄慈
----	-----	----	----	----	-------

1. 部局の使命

地域包括ケアシステム・豊中モデルを推進し、地域共生社会の実現に向けて取り組めます。
(1) 市民が暮らしやすさを実感できるよう、個人や地域の抱える福祉課題への分野横断的な取り組みを進めます。
(2) 課題や不安を抱える人や様々な生きづらさを感じる人が地域で孤立することなく、必要な支援につながるよう包括的な支援体制を整備、強化していきます。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>○地域福祉計画をはじめとする分野別計画における事業の進行管理と連動させながら地域包括ケアシステム・豊中モデルを推進し、複雑・複合化した課題を抱える人や世帯に対して、分野を超えた多機関連携と庁内体制の強化により包括的な支援につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none">①相談支援体制の強化②各事業計画の策定③認知症高齢者支援の充実と介護予防の推進④福祉・介護人材の確保と育成	<p>○地域包括ケアシステム・豊中モデルを推進するため、関係部局、関係機関と連携し、取り組みを進めました。</p> <ul style="list-style-type: none">①地域共生課を調整役とし、関係課に配置した兼務職員とも連携することで、複雑・複合化する課題を抱える世帯や個人に対する多機関による支援体制を強化しました。②地域福祉、障害、高齢・介護の3つの分野の次期計画として、第5期地域福祉計画、第六次障害者長期計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画、第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を各審議会の意見をもとに策定しました。③認知症施策推進計画を策定するとともに、認知症損害賠償保険事業の開始など施策事業の実施に取り組みました。また、介護予防においては、利用者データの集積・分析を行えるよう独自データベースの作成に取り組みました。④介護・障害福祉サービス分野への資格取得・就労応援事業を実施し、次年度実施に向けて、介護の未来創造支援事業（人材確保）の準備を進めました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>地域包括ケアシステム・豊中モデルの推進</p> <p>(1) 相談支援体制の強化(重点) 複雑・複合化する課題を抱える人や世帯に対して、分野を超えた多機関が連携して包括的な支援を確実にを行うため、地域共生課にコーディネーター役の職員を配置します。支援方針を定め、支援の進捗管理を関係課、関係機関と連携して行います。</p> <p>(2) 地域福祉計画の策定 令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度)を計画期間とする第5期地域福祉計画の策定に取り組みます。また、地域包括ケアシステム基本方針を地域福祉計画に包含し、その考え方を継承した地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めます。</p> <p>(3) 災害時個別避難計画の策定 令和4年度(2022年度)の個別避難計画策定モデル事業での検証を踏まえ、令和5年度(2023年度)は7校区で実施します。個別避難計画策定の過程において、地域とのつながりを深めていきます。</p> <p>※地域包括ケアシステム・豊中モデルは、社会福祉法の改正により令和3年度から開始した重層的支援体制整備事業を包含し取り組んでいます。</p>	<p>(1) 地域共生課にコーディネーター役として北・中・南のエリア担当職員を配置し、連携する10課の職員28人が兼務となり、多機関連携による支援体制を強化しました。(36ケースの支援、70回の多機関連携会議)</p> <p>(2) 包括的な支援体制の強化、地域づくり、持続可能な地域福祉について、障害や介護などの分野別計画と連動した上位計画として、6年間に取り組む事業を明確にしました。(3月)</p> <p>(3) 地震・風水害に対応した個別避難計画のモデルケースを7ケース作成し、スマホ等のアプリを活用した安否確認の実証実験を少路小学校区で実施しました。(3月)</p>	<p>(1) 多機関で迅速かつ正確な情報共有を行い、適切な支援を進めていくため、相談支援システムを構築します。</p> <p>(2) 地域での多様な主体が連携した地域づくりから地域福祉の担い手の育成や専門人材の発見、地域で支援が必要な人を制度につないでいくなど、相談支援、地域づくり、参加支援が連動した地域共生社会が実現できるよう取り組む必要があり、審議会等で進捗管理やしくみの検討を行います。</p> <p>(3) モデル事業の検証結果をふまえ、令和6年度(2024年度)～令和7年度(2025年度)に、優先対象者の個別避難計画を作成します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-1- (1) 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティの実現に取り組みます</p> <p>2-1- (2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域全体で支える環境づくりを進めます</p> <p>2-1- (3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社会参加を推進します</p> <p>基本政策</p> <p>6 教育と福祉の連携</p> <p>19 避難誘導の充実</p> <p>44 地域包括ケアシステム・豊中モデルの推進</p> <p>45 新たなコミュニティとつながりの創出</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>認知症高齢者支援の充実と介護予防の推進</p> <p>(1) 認知症高齢者支援の充実 (重点)</p> <p>①認知症高齢者等及び家族支援のための「認知症損害賠償保険」を導入します。</p> <p>②身近な地域において高齢者が認知症予防活動に取り組むことができるよう、認知症予防教室や講演会の効果的な実施に取り組みます。</p> <p>③地域包括支援センターによる「認知症カフェ」の立ち上げ支援を継続し、カフェ情報の周知に取り組むとともに、認知症サポーターの活躍の場として事業の充実に取り組みます。</p> <p>(2) 介護予防・自立支援の推進 (PT) (重点)</p> <p>①介護予防分野へのEBPM推進のための環境整備(データ収集・分析・検証)を行います。</p> <p>②介護予防事業の効果的な実施に向け、事業の再編・再構築・拠点の在り方検討などに取り組みます。</p> <p>③自立支援型ケアマネジメントの普及に向け、リハビリ職による同行訪問、教育活動に取り組むとともに、ケアマネジメント支援の体制づくりを進めます。</p>	<p>(1)</p> <p>①令和5年(2023年)9月「認知症個人損害賠償保険」事業を開始し、3月上旬時点で、申込者数436人、加入者数406人となっています。</p> <p>②認知症支援教室3クール(3か月コース)計57人参加のほか、認知機能測定イベントを老人憩の家や庄内コラボなどで実施しました。</p> <p>③市内で活動する「認知症カフェ」は22か所まで拡大し、認知症サポーター15名による運営支援、啓発普及活動の場となっています。</p> <p>(2)</p> <p>①効果検証の見直しやデータ解析に必要な独自データベースの作成に取り組み、大学研究者と共同研究に向けた準備を進めました。</p> <p>②委託先事業者や団体等とのデータ共有手法の見直しや自立支援の指導などに取り組みました。</p> <p>③共通マニュアルや意思決定までの支援フローの整理、集合型の対面会議の開催等を行いました。</p>	<p>(1)</p> <p>*令和6年(2024年)3月策定「豊中市認知症施策推進計画」の進捗管理とともに、新規事業「医療系アウトリーチ事業」の実施に取り組みます。</p> <p>*チームオレンジの立上げ・活動支援を推進し、圏域完結型支援の構築に取り組みます。</p> <p>(2)</p> <p>介護予防事業の効果検証を進めるため、客観的エビデンスの構築に向けたデータ集積、分析、評価手法の構築、実施に取り組みます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-1- (2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域全体で支える環境づくりを進めます</p>		
	<p>基本政策</p> <p>41 認知症とメンタルヘルス対策の充実</p>	44	地域包括ケアシステム・豊中モデルの推進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>介護施策の充実と人材と質の確保</p> <p>(1) 介護保険施設等の整備 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に掲げる介護保険施設の施設整備に取り組みます。</p> <p>(2) 人材の確保(重点) ①新たに「介護・障害福祉サービス分野への資格取得・就労応援事業」を実施し、市内事業所の人材確保及び質の高いサービスの安定供給を図ります。 ②人材確保のため、公民学連携によるプラットフォームの構築及びその運営・事業内容について具体化し、進めていきます。</p>	<p>(1) 介護保険施設等の整備 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、特定施設入居者介護は180床整備しました。</p> <p>(2) 人材の確保(重点) ①新たに「介護・障害福祉サービス分野への資格取得・就労応援事業」を実施し、介護職員初任者研修受講料助成金は50件を支給し、その内3件は就労応援金を支給しました。(3月末現在) ②人材確保のため、介護の未来創造支援事業を来年度実施に向け、準備を進めました。また、豊中市介護事業者連絡会との共催により「いきてゆくフェス」を実施し、高齢者の社会参加促進や介護の魅力発信等に取り組みました。(参加者：1,540人)</p>	<p>(1) 介護保険施設等の整備 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において整備予定のサービスについて令和6年度(2024年度)から公募し、整備を進めます。 ・特定施設入居者生活介護 300床 ・複合型施設(地域密着型特養29床、GH54床) ・定期巡回随時対応型訪問介護看護1施設 ・看護小規模多機能型居宅介護1施設</p> <p>(2) 人材の確保(重点) ①より効果的になるよう②に含めた事業展開を検討します。 ②介護の未来創造支援事業を立ち上げ事業者主体の人材確保対策を支援します。また、介護の魅力をより感じてもらえるよう豊中市介護事業者連絡会と共に「いきてゆくフェス」の企画・運営を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-1- (2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域全体で支える環境づくりを進めます</p>		
	<p>基本政策</p> <p>40 医療・福祉・介護人材の確保育成</p>	44	地域包括ケアシステム・豊中モデルの推進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>障害者施策の充実</p> <p>(1) 次期計画の策定及び施設整備 ①「豊中市第六次障害者長期計画」「第7期豊中市障害福祉計画」「第2期豊中市手話言語アクションプラン」を策定します。 ②グループホーム整備方針に基づき、重度の障害がある人が入居できるグループホームを中心に整備(25床増)を進めるとともに、次期整備方針を策定します。</p> <p>(2) 相談支援体制の充実 ①障害者相談支援センター(7か所)における相談支援の質の向上及び多機関連携の更なる推進を図ります。 ②重度障害者やその家族が望む生活を実現するための、相談支援体制のあり方について検討します。</p> <p>(3) 【再掲】人材の確保(重点) ①新たに「介護・障害福祉サービス分野への資格取得・就労応援事業」を実施し、市内事業所の人材確保及び質の高いサービスの安定供給を図ります。 ②人材確保のため、公民学連携によるプラットフォームの構築及びその運営・事業内容について具体化し、進めていきます。</p>	<p>(1) 次期計画の策定及び施設整備 ①「豊中市第六次障害者長期計画」「第7期豊中市障害福祉計画」「第2期豊中市手話言語アクションプラン」を策定しました(3月)。 ②整備目標25床に対して45床を整備しました。また、既存グループホームに対する重度化対応改修10床を追加し、年35床を整備目標とした「第2期障害者グループホーム整備方針」を策定しました(3月)。</p> <p>(2) 相談支援体制の充実 ①障害者相談支援センター輪番制の人材育成研修を実施しました(毎月)。また、地域包括支援センターとの情報交換会を実施しました(8月・3月)。 ②短期入所サービス事業者連絡会において、緊急時宿泊支援体制の構築等について、協議を行いました。</p> <p>(3) 【再掲】人材の確保(重点) ①資格取得支援金を7人、就労応援支援金を3人に支給しました。 ②プラットフォームの構築については、高齢分野で先行実施することにしました。</p>	<p>(1) 次期計画の策定及び施設整備 ①各計画の目標達成に向け取組みを推進します。医療的ケアの必要な人、強度行動障害のある人、高次脳機能障害のある人について、次期計画期間中にニーズ調査及び支援体制の整備を検討します。 ②重度障害者の受け入れが可能な障害者グループホームの更なる整備に向け、ハード面での支援策を推進するとともに、人材確保や支援スキルの継承等、ソフト面での支援策についても検討します。</p> <p>(2) 相談支援体制の充実 ①引き続き、障害者相談支援センターを核とした人材育成研修を通じて、支援員の質の向上に取り組みます。 ②地域生活支援拠点に支援コーディネーターを配置し、相談機能の充実や緊急時宿泊支援体制の構築を図ります。</p> <p>(3) 【再掲】人材の確保(重点) ①相談支援専門員の資格取得に係るものについても対象を拡大し、更なる人材確保を図ります。 ②介護の未来創造支援事業について、障害事業者の参加を検討します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-1- (3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社会参加を推進します</p>		
	<p>基本政策</p> <p>44 地域包括ケアシステム・豊中モデルの推進</p>		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	
5	生活保護制度の適正な運営		<p>(1)生活習慣病対策等の健康管理支援事業における健診受診勧奨強化月間対象者を30歳代と設定し、実施するとともに、妊娠中の被保護者への支援の強化に取組みました。又、事業の効果検証として大学等との連携により継続的にデータ分析を行い、これまでの取組みを継承しながら、新たな課題に対して対応するため「(第3期)医療扶助の適正な実施に関する方針」を策定しました。</p> <p>(2)稼働年齢層管理台帳を活用し、就労支援候補者の選定を行いました。又、対象者の状況等を見極め、ハローワーク同行支援や地域就労支援事業の活用による支援を行いました。</p> <p>○支援依頼実績(令和6年(2024年)3月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク同行等支援173件 ・地域就労支援事業活用34件 ・ケースワーカー1人当たりの年間5件を就労支援に依頼4.57件(ケースワーカー数45人) <p>(3)職階や役割に応じた研修及び社会福祉職人材育成プランに関して初任期、中堅期、全職階の研修を実施し、人材育成を行いました。(新人CW等対象7回、査察指導員対象3回、エルダー対象2回、全職員対象11回(必須・選択)、社会福祉職人材育成プランによるもの3回)</p>	
	<p>(1)医療扶助の適正化 生活習慣病対策等の健康管理支援事業を実施し、関係機関と連携を図りながらデータ分析を進めます。これまでの各取組みを評価し、課題に対して「第3期医療扶助の適正な実施に関する方針」を策定します。</p> <p>(2)就労支援 ケースワーカーと自立支援係が連携し、就労支援候補者を選定、関係機関とも連携した就労支援を進めます。</p> <p>(3)福祉人材の育成・確保 横断的に他機関と連携できるよう、ケースワーカー及び査察指導員の専門性の向上のため、「社会福祉職人材育成プラン」及び福祉事務所の研修計画に沿った人材育成を実施します。</p>			
総合計画				
	2-1- (4)	一人ひとりに応じた自立と就労を支援します	2-1- (1)	多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティの実現に取り組みます
基本政策				
	44	地域包括ケアシステム・豊中モデルの推進	40	医療・福祉・介護人材の確保育成

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>多機関連携における相談支援体制の強化</p> <p>(1) 複雑・複合化する課題を抱える人や世帯に対して、分野を超えた多機関が連携して包括的な支援を確実に進めるよう体制整備を進め、分野に関係なく継続的な支援が受けることができることをめざします。</p> <p>(2) 第5期地域福祉計画を策定し、適正な進捗管理を行います。</p>	<p>令和5年度(2023年度)</p> <p>①多機関連携による新たな相談支援体制の始動とシステム構築に向けた検討</p> <p>②第5期地域福祉計画の策定</p> <p>令和6年度(2024年度)</p> <p>(仮称)地域包括ケア総合システム開発</p> <p>令和7年度(2025年度)</p> <p>(仮称)地域包括ケア総合システム稼働</p>
	総合計画	
	2-1- (1) 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティの実現に取り組みます	
	基本政策	
44	地域包括ケアシステム・豊中モデルの推進	
2	<p>事業計画と施設等の整備</p> <p>高齢、介護、障害における事業計画の策定と計画に基づく施設等の整備を進めます。</p>	<p>令和5年度(2023年度)</p> <p>①第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、第六次障害者長期計画・第7期障害者福祉計画の策定</p> <p>②第2期手話言語アクションプラン、第3期障害者グループホーム整備方針の策定</p> <p>令和6年度(2024年度)～</p> <p>各計画に基づく施設等の整備</p>
	総合計画	
	2-1- (2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域全体で支える環境づくりを進めます	2-1- (3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社会参加を推進します
	基本政策	
44	地域包括ケアシステム・豊中モデルの推進	